

# 農業だより

## 令和4年度産「つや姫」生産者募集！！

【募集期間】令和3年9月10日(金) (認定申請書の提出期限)

7/30に山形「つや姫」ブランド戦略推進本部より令和4年産つや姫の生産量が示され、県全体で9,900haと前年比で100haの増となりました。このうち、新庄市における増加分は4haとなっております。

若干の募集ではありますが、新規作付の希望及び既存作付面積の変更等に関しては、所属する生産者組織へお早めにご相談ください。



### 各種要件

#### 1.基本要件

- (1)栽培適地内に水田を有すること。
- (2)栽培マニュアル及び品質・食味・栽培基準を遵守すること。
- (3)種子の再譲渡と自家採種を行わないこと。
- (4)収穫物は自家消費を除き全量出荷(販売)すること。
- (5)「つや姫」出荷基準基本方針に基づき自主仕分けに取り組むこと。(玄米たんぱく質含有率6.4%以下等)
- (6)つや姫ブランド推進に係る各種制度・提出物の遵守、「つや姫」のブランド化の推進に協力すること。

#### 2.面積要件

- (1)稲作を経営の柱とし、水田経営面積が3ha以上であること。
- (2)「つや姫」の最低作付面積が概ね60a以上(有機栽培の場合は20a以上)であること。

#### 3.栽培要件

有機栽培、特別栽培のいずれかを行っていること。(第三者からの認証が必要)

#### 4.販売要件

集荷団体へのお荷等、具体的な販売(出荷)計画を有していること。(販売計画書の提出が必要)

#### 5.その他

市農業再生協議会が提示する「生産の目安」に基づく需要に応じた米生産に協力していること。

上記要件のすべてを満たす生産者が優先されます。

※このほか、上記のうち面積要件を満たさない場合の認定(中小規模生産者の特別認定)についても、所属する生産者組織へご相談ください。

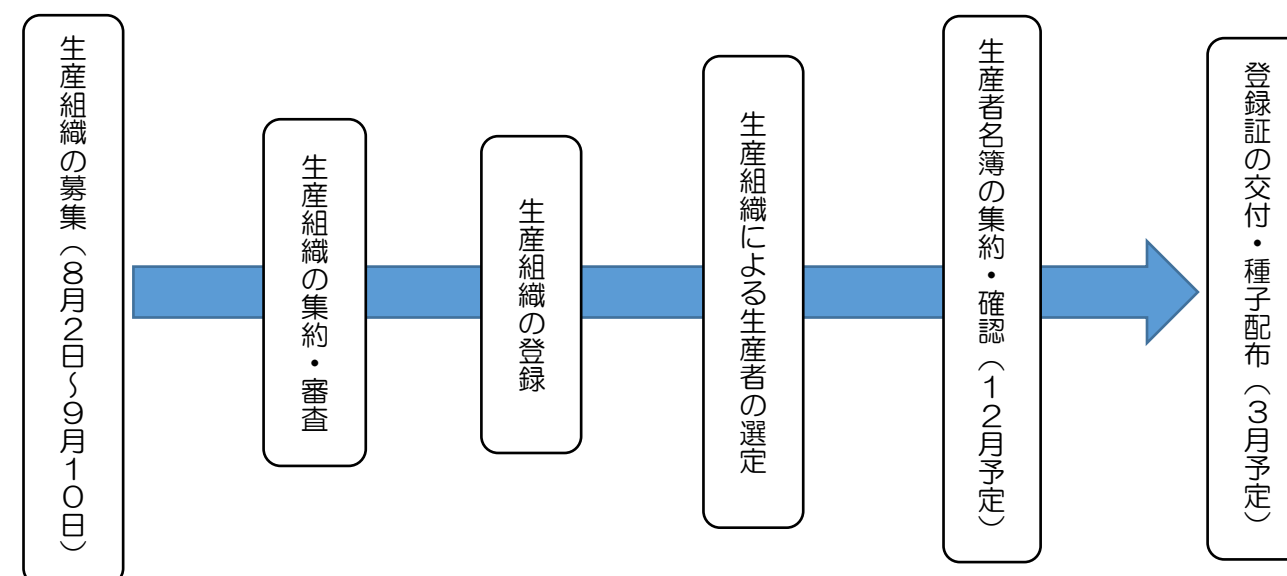
お問い合わせは… 新庄市農林課 農業振興室 TEL 0233-29-5836

## 令和4年度産「雪若丸」生産組織募集！！

【募集期間】令和3年9月10日(金)

「雪若丸」は「つや姫」と異なり、生産組織を登録し、登録された生産組織が生産者を選定する仕組みとなります。詳しくは、出荷している集荷業者(JA、米集業者など)にお問い合わせください。

【雪若丸の生産登録フロー】



### 各種要件

#### 1.生産組織の要件

- (1)JA等の水稻部会、3戸以上の農業者で構成する組織、農事組合法人等で、定款又は規約を有していること。
- (2)生産組織が有する水稻作付面積が10ha以上であること。
- (3)生産組織の構成員すべてが、市農業再生協議会が提示する生産の目安に基づく需要に応じた米生産に協力していること。
- (4)「雪若丸」の具体的な販売計画を有すること。
- (5)「雪若丸」の種子の再譲渡や自家採種は行わないこと。
- (6)「雪若丸」ブランド化戦略の推進に協力すること。

#### 2.栽培要件

- (1)栽培マニュアルに基づいた栽培を行うこと。
- (2)生産戦略に掲げるガイドラインに基づく生産方式を組織が設定し、責任を持って栽培管理を行うこと。



お問い合わせは… 新庄市農林課 農業振興室 TEL 0233-29-5836



最上総合支庁農業技術普及課からのお知らせです。

# 出穂早く、刈取早い！ 平坦部の早生品種は9月早々に刈取開始！

## ◎生育診断圃の穂揃期調査結果

地帯	年次	出穂期 月日	止葉 枚	穂数 本/m <sup>2</sup>	一穂粒数 粒/本	総粒数 百粒/m <sup>2</sup>	葉色 SPAD
平坦 はえぬき 新庄市泉田	本年	8月5日	12.7	574	63.4	364	35.2
	前年	8月9日	12.1	590	63.6	375	35.8
	平年	8月7日	12.6	544	65.2	355	35.4
	平年比	-2	0.1	106%	97%	103%	-0.2
平坦 雪若丸 新庄市泉田	本年	8月5日	12.5	611	51.2	313	35.5
	前年	8月8日	12.2	569	54.8	312	35.2
	指標	8月2日	13.0	560	54.0	300	36.0
	指標比	+3	-0.5	109%	95%	104%	-0.5
平坦 つや姫 舟形町富田	本年	8月7日	12.9	471	66.6	314	29.4
	前年	8月12日	12.9	490	68.3	335	30.9
	平年	8月10日	12.9	466	67.8	315	31.4
	平年比	-3	0.0	101%	98%	100%	-2.0
中山間 あきたこまち 最上町向町	本年	7月30日	12.8	542	63.6	345	36.4
	前年	8月3日	12.4	544	70.7	385	38.9
	平年	8月1日	12.4	498	71.6	355	39.4
	平年比	-2	0.4	109%	89%	97%	-3.0

## ◎積算気温による本年の刈取適期予想(8月23日現在)

### <令和3年 品種別刈取適期の目安>

地帯	品種名	出穂期	出穂期以降の積算平均気温					青糶歩合 (%)
			950	1000	1050	1100	1150	
平坦	ヒメノモチ	7月24日	9/1	←----	9/5			-
	ひとめぼれ	8月2日	9/12	←-----	9/18			15
	はえぬき・雪若丸	8月3日	9/13	←-----	9/26			20 雪若丸は15-20
	つや姫	8月7日		9/22	←-----	10/3		15
	コシヒカリ	8月8日		9/23	←-----	10/4		15
中山間	ヒメノモチ	7月27日	9/7	←----	9/11			-
	ヒメノモチ※	7月31日	9/11	←----	9/16			-
	あきたこまち	7月30日	9/10	←-----	9/17			15
	はえぬき・雪若丸	8月6日	9/20	←-----	10/4			20 雪若丸は15-20
山間	あきたこまち	8月2日	9/17	←-----	9/25			15
	あきたこまち※	8月6日	9/23	←-----	10/3			15

※平坦は新庄、中山間は向町、山間は肘折のアメダスデータによる。(8月23日まで本年実況値、以降は平年値を使用。)

品種名の後に※が付いているものは、地域平均と比較しても出穂が遅れた圃場の例

◎各圃場の生育や今後の気象経過により、刈取適期は変動しますのでご注意ください。

## ◎今後の水管理 病害虫防除

収量・品質低下を招く長期または早期の落水は絶対に行わず、出穂後30日までを目安に間断かん水や飽水管理を継続しましょう。本年は総粒数が平年並みからやや多く、しっかり登熟させるために、きめ細かな水管理が重要です。

基本防除後に水田内で斑点米カメムシ類が確認された場合は、**補完防除(基本防除の7~10日後)**を行いましょ。その際は、農薬の収穫前使用日数に注意しましょう。

## ◎収穫作業 ~適期刈取~

早刈りは高水分糶による乾燥効率の低下や青未熟粒の混入、刈り遅れは着色粒・胴割粒・光沢低下などにより品質が低下します。

刈取適期は青糶歩合、糶水分、出穂後の積算気温等から総合的に判断しましょう。

### <刈取適期判断のポイント>

- 1 出穂後の積算気温
- 2 枝梗の黄化程度
- 3 青糶歩合15~20%
- 4 糶水分25%以下

### <収穫作業のポイント>

- ① **出穂が早かった「ヒメノモチ」は、9月に入ると刈取適期となります。**機械の点検等は遅れずに進めましょう。
- ② **m<sup>2</sup>当たり糶数が多い圃場では登熟進度がやや遅くなります。**圃場をよく観察して刈取に向かいましょう。
- ③ **8月10日頃以降に出穂期を迎えた圃場では、低温寡照の影響で穂揃いに時間を要しました。**今後の登熟進度をよく観察しましょう。

## ◎乾燥・調製作業 ~品質・食味を重視した対応~

### ① 収穫糶の乾燥機への張り込みは速やかに行いましょう!

収穫時に水分の高い生糶を放置すると、「ヤケ米」や「変色米」の原因になります。気温が高い状況下で収穫した場合、短時間でも「ヤケ米」が発生するため特に注意が必要です。

### ② 乾燥の速度はゆっくり丁寧に行いましょう!

高温での急激な乾燥は、胴割粒の発生や食味の低下に繋がります。送風温度は外気温+15℃までとし、乾燥速度は糶水分20%以上では毎時乾減率0.8%程度、糶水分20%未満では0.6%程度を目安とします。また、青糶が多い場合、二段乾燥を行いましょう。

### ③ 試し摺りは必須! 肌ずれ米の発生を防止しましょう!

糶は十分に放冷して、糶摺り時の肌ずれ防止に努めます。品種ごとに必ず試し摺りを行い、ロール間隙を調節しましょう。**特に「雪若丸」は粒が大きいので要注意!**

**令和3年秋の農作業安全運動 9月1日~10月31日**  
秋の農繁期はもうすぐ! 農業機械の点検整備は万全ですか?  
農作業事故ゼロで実りの秋を迎えましょう!